

東京二十三区清掃一部事務組合一般廃棄物処理基本計画改定検討委員会（第1回）
会議要録

- 1 開催日時 平成30年5月14日（月）午後2時00分～午後3時25分
 - 2 開催場所 東京区政会館 14階入札室
 - 3 出席委員 委員 10名 代理出席 3名
 - 4 傍聴者 4名
 - 5 議題 (1) 一般廃棄物処理基本計画改定検討委員会について（資料2、3）
(2) 一般廃棄物処理基本計画の改定にあたって（検討資料1-1、1-2）
(3) 一般廃棄物処理基本計画改定の基本的考え方（検討資料2）
(4) 23区の概況とごみ処理の現状（検討資料3）
 - ① 人口及び事業所数
 - ② ごみ量及び焼却処理量
 - ③ 最終処分量
 - ④ ごみの組成
 - ⑤ ごみの中間処理に係る経費
 - (5) 施設整備計画の現状（検討資料4）
(6) 一般廃棄物処理基本計画改定における検討スケジュール（検討資料5）
- 6 会議経過

事務局： 第1回改定検討委員会ワーキンググループ（以下「WG」という）での検討経過について、特段の意見、資料の変更等はない旨報告。

→特に質問等なし、了承。

- (1) 一般廃棄物処理基本計画改定検討委員会について

事務局： 資料2、資料3を用いて説明。

→特に質問等なし、了承。

- (2) 一般廃棄物処理基本計画の改定にあたって

事務局： 検討資料1-1、検討資料1-2を用いて説明。

委員： 検討資料1-2について、国や東京都の計画では目標値を定めているが清掃一組の現行基本計画には、指標の設定あるいは目標値の記載がない。

事務局： 東京都の最終処分量の目標値については設定している。また、現行の一廃計画に記載した施策等の評価、達成状況については今後出していく。

委員： 国は具体的なごみ減量の指標を定めている。これを踏まえたうえでごみを減量するというのであれば目標値を持って取り組むべきではないか。

事務局： 清掃一組の基本計画は清掃工場の施設整備計画が中心となる。ごみの減量計画は23区の施策によるところが大きい。

委員： 総量としてごみを減らしていかなければならない。清掃一組として目標を持って、各区に目標達成の協力を求めるスタンスは必要ではないか。

事務局： それについては、ごみ量予測の中で議論をしていきたい。

委員： ごみを減量するのは23区の努力だが、ごみがこれだけ出るからこれだけの清掃工場が必要という考え方だけではいけないのではないか。各区の努力にただ任せるだけでなく、減る方向でインセンティブを与えていくような視点が必要ではないか。

委員長： 国の目標値などを踏まえて、23区と清掃一組が連携してごみ減量を目指すというような表現をどこかに入れていく必要があるということか。

委員： そういった視点を持つことが必要ではないか。

事務局： 今までの基本計画ではそういったことを書きにくかった部分がある。委員からの提案を受け、文章を整理し、書き方については検討していきたい。

委員長： 内容については事務局で検討して今後、お示しする。

委員： 埋立処分場の延命化が課題となっている。清掃一組と23区全体で取り組んでいかなければいけない課題であり、そういった方向で良いと思う。

委員長： ごみ処理については、各区、清掃一組、東京都が一連で協力して、最初から最後までみんなの責任でやるというようなことを触れるべきだということで、表現については事務局で検討したい。

→了承。

(3) 一般廃棄物処理基本計画改定の基本的考え方

事務局： 検討資料2を用いて説明。

委員： 施設規模のアンバランスとは具体的にどういったことか。

事務局： 現在の清掃一組の清掃工場には焼却能力で200t～1800tまでばらつきがあり、このことを含めて検討していきたい。

委員： 例えば新江東工場を小さくするか世田谷工場を大きくするか、バランスのことを言っているのか。

事務局： 現行計画では規模のアンバランスの解消ができなかったと書いている。具体的には新江東工場を小さくできないかということも含めて、全体のバランスを見ながら検討していきたい。

委員： 各区のごみ減量の取組について前向きな施策をできるだけ書いてほしい。

事務局： 現在、各区に現行一廃計画に関するアンケートを取っている。アンケートの結果から、各区の施策などを整理したうえで、どのような書き方ができるか検討したい。

委員： 各区の取組状況や方向性といった、ごみ減量に有効な取組はどこかに書く余地はあるのではないか。ごみを減らしていかないといけないので、それに向けた有効な手立ては把握する必要がある。そこを明らかにして、各区にごみ減量に取り組んでくださいと言ってもいいのでは。

事務局： 23区の清掃事業の実施主体は23区となるので、前回と同様の表現とした。今回ご意見をいただいたので、アンケート結果を整理して記載することは可能と考える。

委員： ごみの減量とリサイクルは切っても切り離せない。清掃一組の中間処理以外の部分にも触れていただくとありがたい。

委員長： 計画のまとめ方は色々あるので、今後WG等で検討していきたい。

委員： 各区、東京都、清掃一組の計画は、上位計画や下位計画の関係ではなく、フラットな中で三つに役割が分かれている。そうした中で、清掃一組が主体的にごみ減量の目標を立てていくことは難しい。しかし、役割をわきまえながら、ごみ減量について触れていくことはいいと思う。

委員長： 各区のリサイクル資源化施策等も踏まえ、どの様な書き方ができるか整理していきたい。

→了承。

(4) 23区の概況とごみ処理の現状

事務局： ①～⑤について検討資料3を用いて説明。

委員： 持込ごみの増加要因を分析しているか。ITの進歩により紙類は減ると思われるが、詳しい分析は行っていないのか。

事務局： 分析は行っていない。

委員： 清掃一組はごみの組成調査を行っているか。図-6の組成は清掃一組が行っている組成調査の数値なのか。

事務局： 清掃工場のバンカに入ったごみの性状調査を行っている。この図-6はその代表値となる。

委員： 清掃工場に入ってくる紙の量が増えている、減っているだけでなく踏み込んだ分析がないと、各区で対策が取れない。

委員： 各区がどのように取組を進めていけるかという部分がポイントになる。清掃一組がトータルの数値を示すことで、各区にとって意味があるのではないか。

事務局： 今回は概況ということで現状を示した。ごみの組成は国の基本計画策定指針で評価・調査する項目となっている。清掃一組のごみ組成調査は、清掃工場で焼却するごみはどんな性状なのかという視点で調査しており、23区が実施するものとは目的が違うものである。

委員： ごみの総量を減らしていかなければならない。紙ごみのリサイクル率が向上すれば、清掃工場に持ち込まれる紙ごみの量が減るという反比例の関係にあり、各区のリサイクルの取組と関係してくる。そのための分析が必要ではないか。そこから各区の取組を促すような表現もあってもいいのではないか。

委員長： 組成調査の目的が違うので分析は困難である。清掃一組の立場で性状調査の結果を出している。

委員： 清掃一組が各区に必要な施策を出すことはできないと思うので、表現で各区に取組を促すようなことを書いても良いのではないか。

委員長： 各区の取組を促すような表現を工夫しながら入れていきたい。

委員： 清掃工場ごとのごみの組成はわかるか。各区の取組の特性に応じて組成が違うのではないか。

事務局： この数値は全工場の代表値である。また、事業系も含まれており純粋な家庭系はわからない。各工場の組成調査の結果は資料として渡すことは可能である。

委員： 清掃一組で行っている性状調査は湿ベースで出している。紙おむつは紙類に分類している。紙類が減少しても紙おむつ一つで割合は変わってくることもある。各工場年4回実施しているので工場ごとの特徴はそこで確認できる。

委員： 保育園の紙おむつにしても、区によって取扱いが違うので難しい。

委員： 子供用も大人用も紙おむつは「紙類」として扱っている。そのため紙ごみが思ったより減っていないという可能性はある。

委員長： 資料提供方法については事務局で検討する。

→了承。

(5) 施設整備計画の現状

事務局： 検討資料4を用いて説明

委員： 世田谷工場整備手法検討会の報告書については、後々この場で検討していくと

いうことでいいか。

事務局： そのとおりである。

委員： この資料は現行計画ということだが今後、豊島工場も出てくるのか。

事務局： そのとおりである。

→了承。

(6) 一般廃棄物処理基本計画改定における検討スケジュール

事務局： 検討資料5を用いて説明。

→特に意見等なし、了承。

7 その他

委員： 清掃一組の事業で実施している海外支援は今回の計画とは関係しているのか。

委員長： 海外支援にかかる基本計画として、別に国際協力に関する基本方針を定めている。別の計画である。

委員： 持込ごみ量や紙ごみの増量について考察、要因分析する必要があると思うが、それを踏まえて今後のごみ量予測の中で検討していくのか。

事務局： 今のところ、そこまでは考えていない。基本的に清掃一組が予測するごみ量は区長会で確認された手法で算出する。ただし、アンケート結果から推計が出せれば提示していきたい。

委員： ごみ量の目標と現状は違うと思うが、現状を示したうえで清掃工場の焼却能力などを検討していくのか。

事務局： 5年前の基本計画改定時にもアンケートを実施した。この結果を用いて試算したが実績と大分離れた結果となった。そのため現行計画では、清掃一組が推計したごみ量を23区のごみ量とさせていただいた。今回もアンケートを行っているので、その結果を見ていただいて議論できればと考えている。

委員長： ごみ量については課題もあるので、WGと本改定検討委員会で議論いただき決めていきたい。

→了承。

以上